



## 地震や漏電による火災に注意！ 年末の大掃除の機会に電気機器等の点検を！

### 1. 地震による火災（電気に起因する火災が多い）

#### <火災の原因>

- ・家具の転倒、家屋の倒壊による電気配線の破損
- ・ストーブなどの暖房器具が倒れ可燃物に接触
- ・停電から電気が復旧した時に起きる通電火災

地震で停電が発生  
家具が転倒し、電気コードが破損

電気が復旧し、通電後、コードがショート

可燃物に着火

- 家具等の固定をしているか
- 暖房器具の近くに可燃物を置いていないか
- 電気コードを束ねたり、曲げたり、折ったりしていないか



- 住宅用消火器の設置場所は適切か

### 2. 漏電による火災（例）

#### <ケース1>

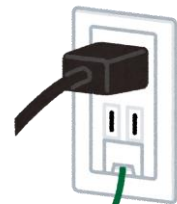
- ・コンセントとプラグの間にほこりがたまり漏電



#### <ケース2>

- ・家電製品の経年劣化や配線不良などにより漏電

- コンセントのゆるみやほこりがないか
- コンセントにアース線を接続しているか（水まわりで使う洗濯機、冷蔵庫、ウオシュレットなど）



アース線

### （消火器の使い方を覚えよう）

#### 消火器の使い方



step 1

安全ピンを上  
強く引き抜く



step 2

ホースを外して  
火元に向ける



step 3

レバーを強く握って  
噴射する

#### 消火のポイント

- 風上にまわり炎の熱や煙を避けて構える
- 屋内では出入口を背にして避難路を確保
- 火を狙うのではなく、燃えているものに向かってホースを左右に振る



# 我が家の防災

4丁目東 地区委員 田丸

購読新聞の家庭版に「防災視点で家の片付け」という特集があり、片付けのやる気をアップできるというので、早速、我が家の片付けを始めてみました。

## 〈4つのStepで、片付け開始！〉

**Step 1**  
ハザードマップで自宅周辺リスクを把握  
※チェック項目  
①地震震度  
②液状化  
③水害



**Step 2**  
住居形態や家族構成に合わせて備蓄



**Step 3**  
不用品を処分して、防災グッズの置き場や避難経路を確保



**Step 4**  
一度に準備は大変、できることからやろう

### ◆チェック結果：地震の揺れが大きい、水害の心配は小さい

①地震震度：家具が移動、倒れる



②液状化：建物によっては被害が発生するおそれがある

③水害：浸水0.3m未満

「南海トラフ地震」の震度予測



### ◆チェック結果：家は耐えそうだが、食料が3日分もなさそう！

自宅の耐震性	建築時期	震度5程度	震度6強
旧基準	1981/5以前	倒壊しない	—
新基準	1981/6以降	ひび割れ程度	倒壊しない
2000年基準	2000/6以降	さらなる規制強化で高い耐震性	

・食料は無いよりマシ程度…家族人数x1週間分の備蓄が理想的

### ◆チェック結果：どこに何がどれだけあるか家族は知らない！

- ・屋外倉庫、階段下収納、リビング、下駄箱にばらばらと備蓄
- ・それぞれの備蓄数や有効期限がわからない…要ローリングストック
- ・備蓄品と非常用持ち出し品が混在…備えの目的を理解していない

### ◆チェック結果：部屋には、飛び交う凶器になるものばかり！

- ・食器棚のガラス飛散防止シート、扉のロック設置あり
- ・机や棚の本、花瓶、小物類が多い…使わないものは怪我のもと
- ・TV、食器棚の転倒防止はあるが、冷蔵庫は未対策

## 〈良かったこと、気づいたこと〉

- ・災害の危険度を正しく知ることで、部屋を整理するポイントが明確に
  - ・防災グッズの管理について家族と話し合ったことで、防災意識が向上
- 自宅の防災力を家族で話し合い、一緒に片付けをしてみよう！